

## 平成29年度 大学院特別講座

講座名：放射線(能)計測の実際
担当教員：田中将裕、赤田尚史、佐瀬卓也（講義・実習：全6回）
開催日時：平成29年5月～（参加希望学生と調整） 3日間(13:30~15:00, 15:15~16:45)
<p>内容：</p> <p>理工学基礎演習で開講される「放射線管理と放射線(能)計測の基礎」に続き、本講座では放射線(能)計測で使用されている測定機器を用いて、放射線(能)計測について実践的に学ぶ。講座は放射線管理で必要となる放射線計測技術、環境研究を目的とした放射線(能)計測技術、気体分析を対象としたトリチウム・水素同位体計測に分かれている。放射線計測機器を用いた実習などを通じて、測定技術やデータ解析手法の理解を目的とする。内容は以下の通りである。なお、管理区域内に設置された測定機器は、一時立ち入りによる見学のみとなります。：</p> <p>(放射線管理で必要となる放射線計測)</p> <p>核融合科学研究所の放射線管理において実際に使用されている放射線測定器を中心に、その用途と測定メカニズムを、講義及び実機の動作デモンストレーションによって学習する。</p> <p>(環境研究を目的とした放射線計測)</p> <p>環境レベルのトリチウムを計測する手法について講義を行うとともに、実験室において実際に測定試料の前処理、測定および解析を行ってもらう。</p> <p>(気体分析を対象としたトリチウム・水素同位体計測)</p> <p>管理区域内に設置されている大型核融合試験装置の排気ガス分析システムおよび測定作業を見学する。排気ガス分析システムで得られたトリチウムにかかるデータについて、実際の解析作業を行う。</p>
<p>本講座の売り：</p> <p>実際の放射線管理、環境測定の現場で使用されている放射線計測機器、測定システムを用いて、データの取得や解析を行うことで、より具体的な計測技術を習得できる。また、教科書には書かれていない、測定現場のノウハウや注意点、データの解析手法を知ることができる。</p>
<p>担当教員の研究内容：</p> <p>田中将裕（装置工学・応用物理研究系）：トリチウム安全処理手法、トリチウム挙動  赤田尚史（装置工学・応用物理研究系）：環境放射線(能)計測手法の開発、環境動態研究  佐瀬卓也（装置工学・応用物理研究系）：放射線防護計測、リスクコミュニケーション</p>
募集定員：3名程度
<p>申込み先：大学院連携係（<a href="mailto:daigakuin@nifs.ac.jp">daigakuin@nifs.ac.jp</a>）</p> <p>内容に関する問い合わせ：田中将裕（<a href="mailto:tanaka.masahiro@nifs.ac.jp">tanaka.masahiro@nifs.ac.jp</a>） 内線番号：2087</p>